

7月の行事報告 July

第27回中原寺ファミリーパーティーに参加して 平成30年7月29日(日)

40度近い気温が続く猛暑の中で逆走台風が前日に上陸し開催が危ぶまれましたが、7月29日(日)「第27回中原寺ファミリーパーティー/あえてよかったね」を今年も無事に開催する事ができました。

ご住職をはじめとした寺族や壮年会および婦人会の有志から結成された実行委員により5月から準備を重ね、河合実行委員長を中心に様々な意見を元に皆様に楽しんでいただけるプログラムをご用意して開催いたしました。おかげさまで、約150名にものぼる方々にご来場いただき楽しんでいただく事ができました。また開催中にご来場いただいた皆様に西日本豪雨の被災者への義援金を募り、58,126円もの浄財を頂きました。早速「本願寺たすけあい募金」(平成30年7月豪雨災害義援金)宛に送金致しました。ご協力誠に有り難うございました。

第1部は開法会館において多田羅壮年会副会長の司会のもと、真打四代目三遊亭歌奴さんにより「試し酒」をご披露いただき、ご来場いただいた老若男女の皆様に「大笑い」い

ただくことができました。それに続いて「ことりのえん」の皆様によるピアノ・フルートと共に美しい歌声に皆が魅了されておりました。

第2部は第2駐車場において村田壮年会副会長の司会のもと、懇親パーティーを開きました。出店として各種飲物・かき氷・焼き鳥・フランクフルト・焼きそば・焼きとうもろこし等が並びました。また子供たちには射的・輪投げ等のアトラクションを用意し楽しんでいただきました。さらにクライマックスには全員参加の盆踊りを楽しみ、夏のパーティーを満喫する事ができました。

この「ファミリーパーティー」に関しましては、ご住職の「安心できる自分の居場所だと感じることができる《ホーム》=お寺」という思いを実行員会の皆さんも共有し、開催に努力しています。最後にご協力くださいました実行委員会に心より感謝申し上げます。 合掌

(総代/星野 修一郎 記)



9月の行事報告 September

第3回壮年会法座を終えて 平成30年9月1日 15:00~

平成30年度テーマ「日常生活で使われている仏教用語」の第1回 2月7日「縁起」第2回 7月7日「他力本願」に続き、今回の壮年会法座では「上品、下品」をテーマに住職より法話を頂きました。はじめに真宗宗歌を合唱し、福島道宏さんの調声にて正信偈を厳かに皆で唱和しました。引続き本題のテーマの解説に住職より拝聴いたしました。

日常生活では「上品、下品」と読んでいますが、仏教では「上品、下品」と読みます。浄土三部経のひとつ『仏説観無量寿経』になかに出てくる言葉であり、東京世田谷区にあ

る九品仏という地名もこれに由来します。

自らの業と我が子によって命を奪われそうになった韋提希夫人に対して、お釈迦さまは「自らが阿弥陀さまのお働きによってのみ救われる身」であることを気づかせるために、人間の資質によって「上品、中品、下品」(それぞれに上生、中生、下生に分かれる)の9段階に分けられると説かれました。韋提希夫人は自らが仏に成るための資質がない「下品下生」であることに気づくとともに、その自分に対して阿弥陀さまのお救いが働いてくださることを喜ばれました。(村田 太喜夫 記)



感話
シリーズ-25

【旧蹟参拝旅行に初参加して】

平成30年6月3日(日)・6月4日(月)



中原寺一行30名は、なんと初運転だと云う真新しい大型バスにゆられて、6月とは思えない夏空の中を快適にドライブを楽しむことが出来ましたし、バスの中での思いがけない楽しい会話も、今だに心に残っております。

初日3日は、越後の七不思議が伝えられる「梅護寺」で親鸞聖人数珠掛けの桜と八房の梅をゆっくりと参拝させて頂きました。翌4日は大谷派の無為信寺(親鸞聖人門弟の無為信房開基、お寺の名が人の名前と同じ)、両寺とも親鸞聖人と深い寺院です。無為信寺の住職と中原寺の住職と供に一同揃ってお勤めをさせて頂きました。個人旅行では、市内から離れた古い寺院を訪ねて読経をすることは、かなわないことでしょう。

宿泊先は、月岡温泉の「ホテル泉慶」でした。立派な温泉宿で大いに親睦を深め、特に女性陣も会場の雰囲気になじみ楽しんで来たのは、全員が一つの輪になって宴を終了できた証と思います。

4日の朝、それぞれが広いゆったりとした温泉につかった後、お朝事を勤めることが出来ました。私にとってすべてが始めての経験で、「お朝事」の言葉も知りませんでした。

旅行を成功させるため、日頃から陰になって準備をして下さった石井会長に、深くお礼を申し上げます。合掌

(植木 輝夫 記)

